

榎野川河口域・干潟自然再生協議会

ニュースレター

No.18

2022年3月発行

トピックス

『ふしの干潟いきもの募金』の運用

今年度も多くの方から、ご寄附をいただきました。心のこもったご寄附をいただき、誠にありがとうございます。昨年度から「ふしの干潟いきもの募金」を活用した活動支援の取組を開始し、活動が充実してきました。また、企業様・ふしの干潟ファンクラブ・一般のボランティアの皆様など多くの方にご協力いただいております。

＜ご寄附をいただいた団体＞五十音順・敬称略

あいおいニッセイ同和損害保険㈱／山口県漁業協同組合吉佐支店山口支所／道の駅さらら阿知須／山口県職員会館（県庁売店）他

＜ご寄附の様子＞

＜支援対象活動例＞



あいおいニッセイ同和損保様から



カブトガニ幼生生息調査



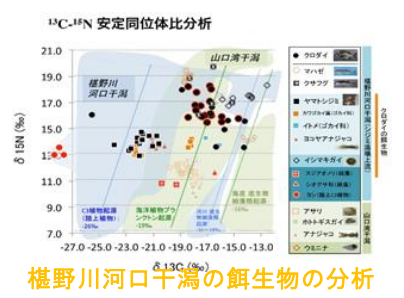
干潟再生のための被覆網のメンテナンス



山口市立二島小学校での授業



子ども用胴長を活用した新たな体験



榎野川河口干潟の餌生物の分析

＜企業様・ファンクラブ等の御協力＞



株式会社伊藤園様



ふしの干潟ファンクラブ様

フシノのお殿様・お姫様のお色直し

榎野川流域連携促進協議会が、榎野川流域の連携のシンボルとして、平成20年からJR山口駅前に設置していた「フシノのお殿様・お姫様」について、色落ちやひび割れなどが生じたため、同協議会が西京教育文化振興財団の助成金を活用して、4月から8月にかけてお色直し（修繕）を行いました。お殿様には榎野川の四季が描かれ、お姫様には室町時代より継承された大内文化を大内塗の伝承模様アレンジした図柄が描かれています。今回、新型コロナウイルス感染症の収束を願い、新たに2対のアマビエも追加されています。ぜひ、お色直しをしたフシノのお殿様・お姫様に会いに行ってみてください。



新型コロナウイルス感染症の影響による活動の変更

今年も新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、「榎野川河口干潟再生活動」などの自然再生活動を中止しました。なかなか自然再生活動が思うように実施できず苦しいですが、順応的に自然再生に取り組んでいくこととし、新型コロナウイルスの影響下においても、できることを考えながら着実に進めてまいります。

カブトガニ幼生生息調査・生物観察会

- 開催日：2021年8月21日（土）、2021年9月6日（月）
- 主催：榎野川河口域・干潟自然再生協議会
- 協賛：あいおいニッセイ同和損害保険(株)山口支店、(株)伊藤園山口支店
- 協力：あいおいニッセイ同和山口支店プロ会、(株)積水ハウス山口工場
- 備考：ふしの干潟いきもの募金支援対象事業



626匹
発見数

山口湾は「生きている化石」カブトガニが生息する貴重な地域です。

山口カブトガニ研究懇話会の原田代表が、カブトガニWGのグループリーダーとなり、山口大学やボランティアの協力を受け、生息調査を行っています。

今年度は、開催日が山口県の「デルタ株感染拡大防止集中対策」になったため、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、やむをえず、ボランティアの皆様の協力を中止し、自然再生協議会の委員のみで、かつ、長浜では調査場所を偶数レーンに絞って実施しました。調査後には、今年もかき氷のプレゼントがありました。



場所	開催日	調査参加者	生物観察会参加者
長浜	2021年8月21日	22人	—
南潟	2021年9月6日	11人	—

長浜・南潟のカブトガニ調査結果 <発見個体数>



クロツラヘラサギを守るための海岸清掃

- 開催日：2021年11月20日（土）
- 主催：NPO法人野鳥やまぐち、榎野川河口域・干潟自然再生協議会
- 協力：あいおいニッセイ同和損害保険(株)、あいおいニッセイ同和山口支店プロ会 (株)伊藤園、積水ハウス(株)山口工場
- 備考：サントリー世界愛鳥基金助成事業

240kg
回収ゴミ



絶滅危惧種であるクロツラヘラサギの飛来地である山口湾のうち、周防大橋西側から唐樋漁港前までを、71名の参加者で清掃しました。可燃ごみ115kg、不燃ごみ60kg、PET等プラごみ65kgの合計240kgを回収しました。

環境学習活動

山口市立二島小学校の総合的な学習の時間との連携

今年も協議会の委員である、山口カブトガニ研究懇話会の原田代表と、水産大学の南條先生と学生の協力を得て、山口市立二島小学校5年生の総合的な学習の時間と連携しました。6月にカブトガニ観察会、10月に干潟の生き物観察会を実施しました。地元で干潟が保全され、多様な生物が生息していることの大切さに気づき、地元をPRしたり啓発するためのCMを作成しました。

◆カブトガニ観察会、干潟の生物観察会の様子



環境学習活動

野鳥の教室 @きらら浜自然観察公園

11月と3月に山口市環境政策課が開催しました。きらら浜自然観察公園のレンジャーの解説を聞きながら、野鳥を観察したあとに、自然の素材を使った工作教室も開催しました。



協議会委員による活動

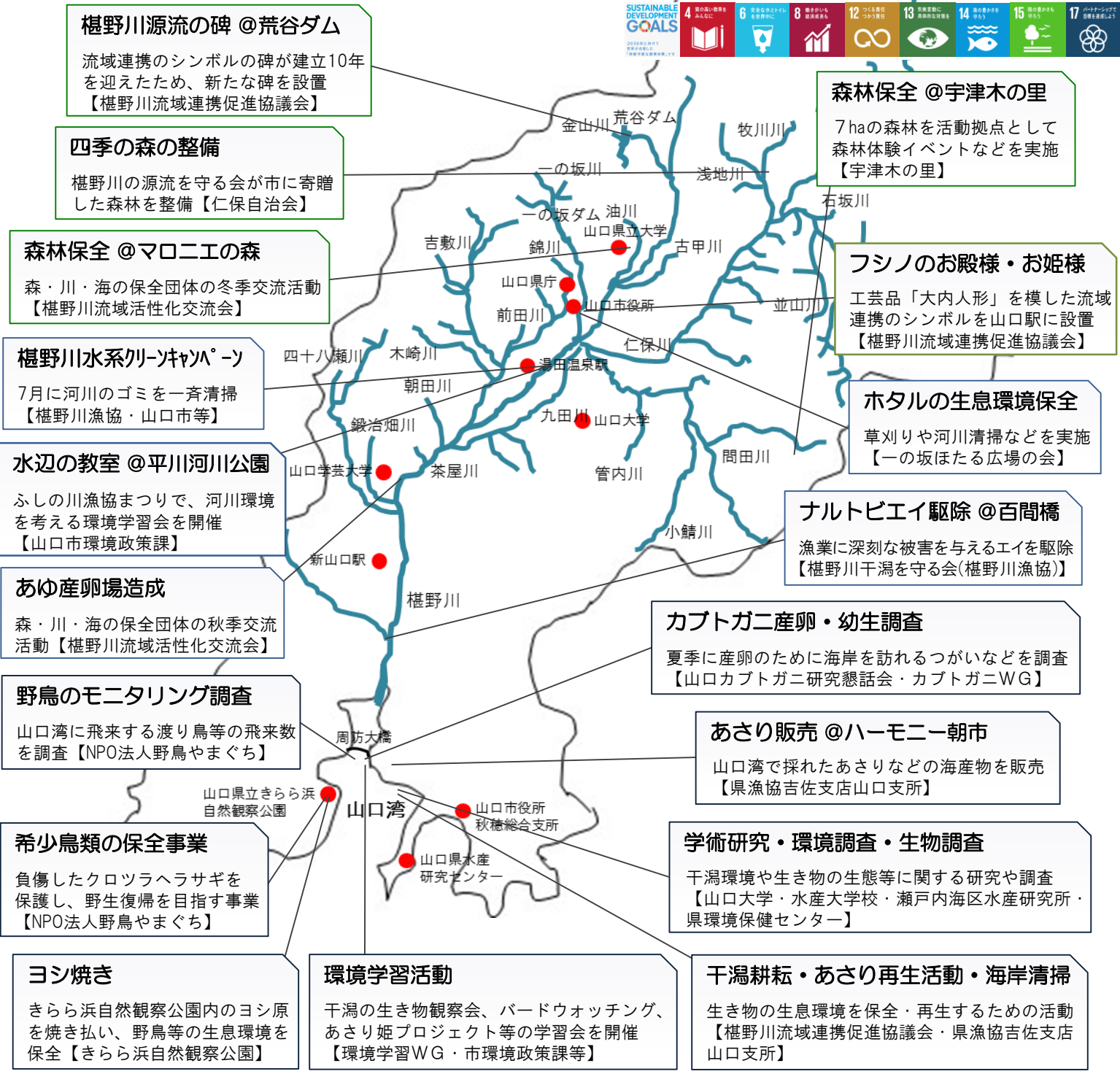
榎野川流域連携促進協議会によるフシノのお殿様・お姫様のお色直し

榎野川流域連携促進協議会が、西京教育文化振興財団から「地域の課題解決部門助成金」をいただき、4月から8月にかけて、山口駅から山口中央森林組合にフシノのお殿様・お姫様を移動させて、お色直し（修復）を行いました。「大内塗ふるさとの森づくりの会」谷口会長の御指導と御協力を頂き、建立時の有志や新規メンバーが、都合のつく時間に集まり、木材の伸縮により生じた凹凸の除去、色の塗りなおし、ニスによる保護膜の塗布、土台用の竹を油抜きして打ち直し、杉皮を用いた土台の保護などを行いました。

山口駅前に設置されたフシノのお殿様・お姫様には、榎野川流域の素晴らしい環境を百年後の子供たちに残したいという思いを胸に、それぞれの有志が様々な活動に取り組み、その連携や活動のシンボルとして設置されたものです。また、「山口を訪れる多くの人々に、ニッコリと微笑みを誘い、山口の思い出の一駒にとどめて頂ける、そんなお手伝いができれば」との願いが込められています。ぜひ、山口駅に足を運び、フシノのお殿様・お姫様に会って、榎野川流域や山口への想いを感じてみてください。



榎野川流域の活動紹介



自然再生協議会会議

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、2021年7月に第30回会議、2022年3月に第31回会議を书面開催しました。第30回会議では、第2回ふしの干潟いきもの募金の実績報告や第3回同募金の支援対象活動の説明及び承認等がありました。第31回会議では、第4回支援対象活動の募集や、あいおいニッセイ同和損害保険(株)からの寄附金贈呈式の報告、ブルーカーボンワーキンググループの設立についての趣旨説明等がありました。

<第2回ふしの干潟いきもの募金支援対象活動>

- ・ UAVを用いたカプトガニ産卵状況・幼生数調査 (山口大学 山本浩一)
- ・ 干潟に生息する肉食性巻貝と二枚貝の捕食-被食関係の解明 (水産大学校生物生産学科沿岸生態系保全研究室)
- ・ 底生生物モニタリング調査、被覆網への藻の付着影響調査 (環境保健センター)
- ・ きらら浜自然観察公園におけるアサリ育成場所の造成 (NPO法人野鳥やまぐち)
- ・ 干潟域を生活史で利用する魚類の生態と成育場の生息環境に関する研究 (国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産技術研究所 環境・応用部門 沿岸生態システム部 温帯浅海域第1グループ)
- ・ 環境DNAを用いたアサリモニタリング (後藤益滋)
- ・ カプトガニ幼生生息調査・観察会 (カプトガニWG)
- ・ 榎野川河口干潟等における里海再生活動の共感者増加に向けた取組 (持続可能な里海づくりWG)

【お問い合わせ先】

榎野川河口域・干潟自然再生協議会 事務局 (山口県環境生活部自然保護課)

TEL : 083-933-3060 FAX : 083-933-3069 Mail : a15600@pref.yamaguchi.lg.jp

※ 会議資料やイベント情報等は、山口県自然保護課、山口市環境政策課のホームページで公開しています。

Facebook 県HP

